

(参考1)

## 令和3年度 教職員研修について

- ① 令和3年度教職員計画（抜粋）
- ② 集合研修とオンライン研修のベストミックスの状況
- ③ G I G Aスクール構想に係る研修一覧
- ④ 「学校教育の重点」と「京都市の資質の向上に関する指標」  
との関連について



# 令和3年度 教職員研修計画について

(抜粋)

## 令和3年度教職員研修計画の基本方針

研修内容等に応じたオンライン研修と対面・集合研修のベストミックスを行うとともに、OJTと効果的に連動させることにより、すべての教職員の資質・指導力の向上を図る

本市教員等がキャリアステージの段階に応じて、磨き、高めていきたい資質・指導力を示した「京都市教員等の資質の向上に関する指標」（以下、「指標」という。）に基づき、令和3年度教職員研修計画を定めました。

激しい世代交代が進み、ベテラン教職員の優れた教育実践等の次代への継承が課題となる中、教職員一人一人が教育者としての使命や職責を深く自覚し、自身の現状を「指標」に照らして振り返りながら計画的な研修等を行い、資質・指導力のさらなる向上を図ることが重要です。同時に、各校園においては「教職員は学校現場で育つ」という認識の下、「学校教育の重点」を踏まえ、「指標」等の活用を通してOJTを有効に機能させ、若手・中堅教職員の組織的な育成をはじめ、すべての教職員の資質・指導力と学校の組織力向上を図ることが必要不可欠です。

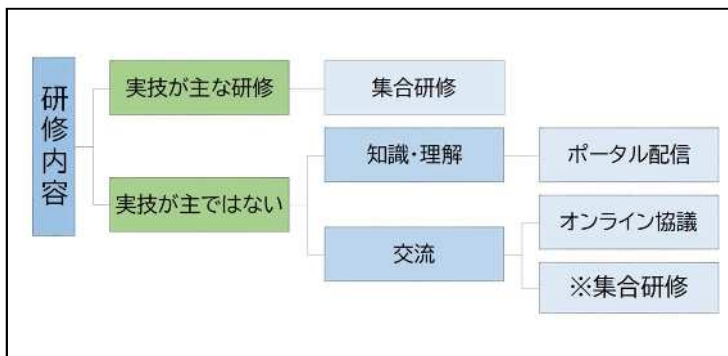
新型コロナウイルス感染症拡大防止と「働き方改革」が求められる中、研修内容・ねらい等に応じて、総合教材ポータルサイトやweb会議システムを活用するなど、「オンライン研修と対面・集合研修のベストミックス」を図ります。また、OJTとセンター等での校外研修を効果的に連動させ、今後の本市教育の重要な担い手となる若年教職員及び次期管理職、学校経営の核となるミドルリーダー層の教職員の養成、さらには女性教職員の一層の活躍の場の拡大等、一人一人の教職キャリア形成に向けた取組を推進します。

さらに、新学習指導要領の趣旨に沿ったカリキュラム・マネジメントの推進、学習評価、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善、GIGAスクールの一人一台端末の活用等、各種研修の充実を図ります。

## 【研修の柱1】総合教材ポータルサイトやweb会議システムを活用したオンライン研修の積極的活用による効果的・効率的な研修

十分な動画配信量に対応し、校外からでも接続できるサイトとして全面リニューアルする「新・総合教材ポータルサイト」を積極的に活用し、コンテンツの拡充を通して、OJTの担い手となる人材の育成を図るなど、各校園の取組の更なる活性化を図ります。また、web会議システムも積極的に活用する中で、対面・集合研修とオンライン研修のベストミックスを図ります。

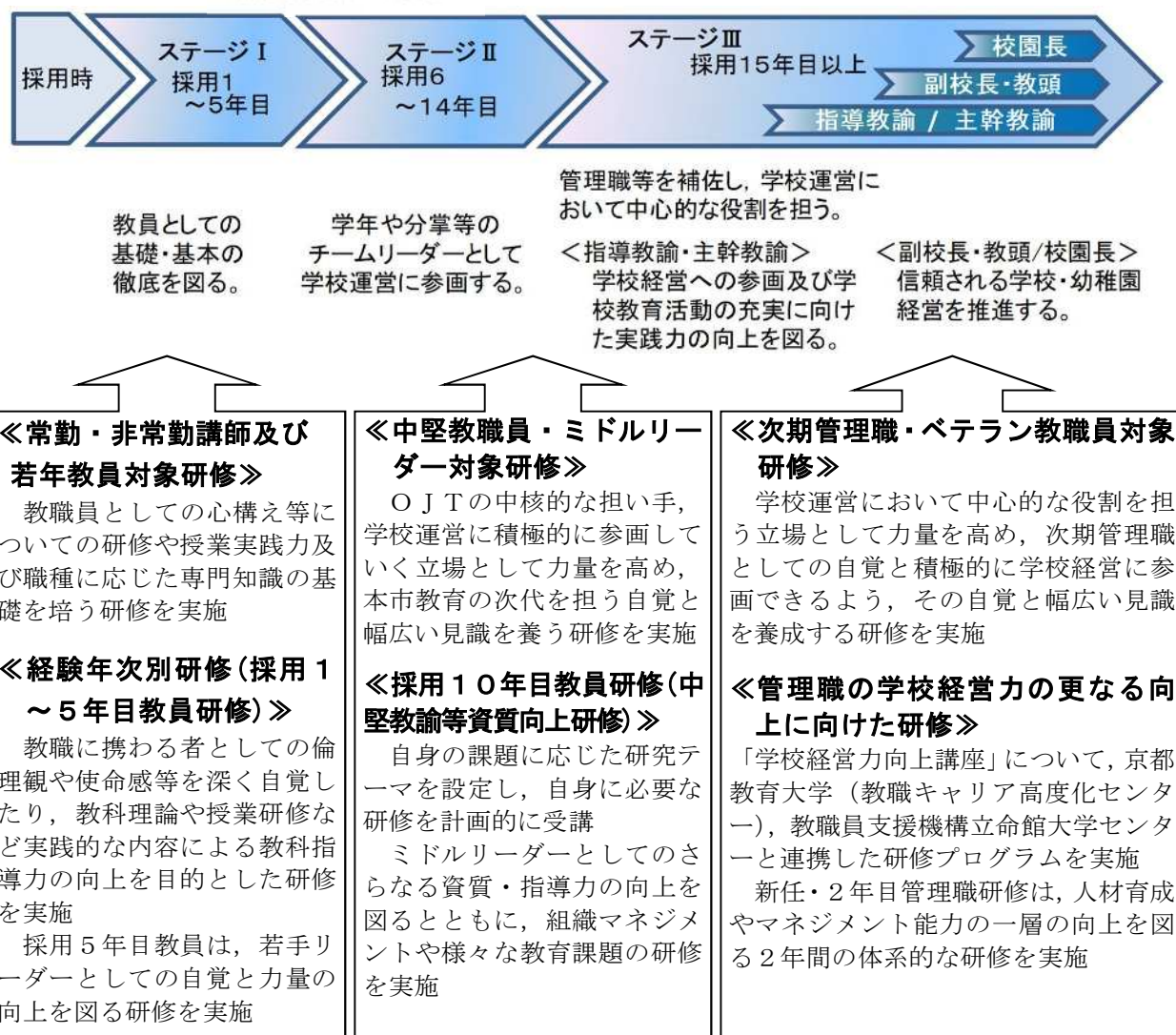
(参考：令和3年度は、全講座数のおよそ半数がオンライン研修となる予定。ただし、新型コロナウイルス感染状況等を踏まえ、今後、集合研修からオンライン研修に変更する講座が出る可能性もあります)



### ※集合研修の4要件

- ①実技を伴うもの
- ②採用1年目等、特にフォローが必要なもの
- ③個人情報等を取り扱うもの
- ④ワークを伴い、オンラインで研修すると研修効果が得にくいもの

## 【研修の柱2】OJTを支援する研修体制、教職キャリアステージに応じた研修体系の構築



## 【研修の柱3】新学習指導要領の趣旨、GIGAスクールの一人一台端末を踏まえた活用方法、喫緊の教育課題に関する研修の実施

新学習指導要領における学習評価やカリキュラム・マネジメント、幼稚園・小学校を対象としたスタートカリキュラムに関する研修、幼小接続講座や教科等における小中合同講座の充実、プログラミング教育に関する研修、生徒指導や総合育成支援教育等に関する研修、**専科教育充実のための研修**、英語教育や道徳教育に関する研修など、各種研修の充実を図ります。**教育研究団体の実践的研究を積極的に支援**するとともに、各研究会が研究成果を発信しやすくするため、**研究会ホームページのリニューアル**を行い、研究成果の普及を図ります。

GIGAスクールの一人一台端末を踏まえ、**校長会、研究会、カリキュラム開発支援センター、研究課等と連携し、各教科等での活用実践例を発信**するとともに、**研修においてGIGA端末を積極的に活用**していきます。

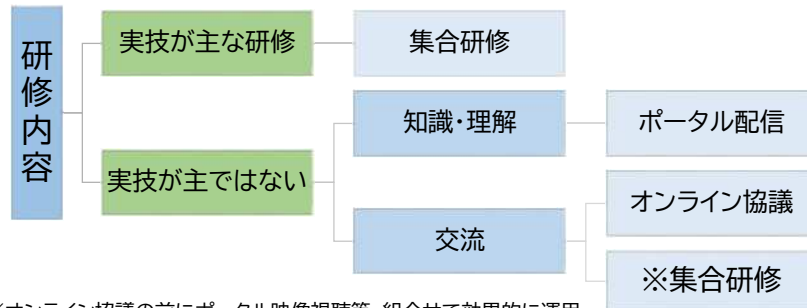
育児休業で学校現場を長期間離れた教職員に対し、復帰への不安解消や復帰後の教育実践の充実に繋げる研修を行うとともに、校外からでも接続できるサイトとしてリニューアルする「新・総合教材ポータルサイト」を活用し、自己研鑽の機会の充実を図るなど、職場復帰に向けた研修支援を継続します。



【令和3年度研修計画策定の考え方】

オンライン研修と対面・集合研修とのベストミックス

→働き方改革, コロナ感染拡大防止を踏まえ, 研修内容・ねらい等に応じ研修方法決定



※オンライン協議の前にポータル映像視聴等, 組合せで効果的に運用

※夜間実施の課題別のオンライン協議は, 開始時間の前倒し。

(通常:18時30分~開始 → 16時~ or 17時~, 学校種の状況に応じて柔軟に設定)

※授業研修(代表者授業)は, 3密を避け(小グループに分かれ)できる限り集合研修で実施。

(示範授業は, ポータルサイトへ掲載して, いつでも, どこからでも繰り返し視聴可)

1



【令和3年度研修計画の概要】

集合研修について

集合研修の4要件

1. 実技を伴うもの

- ・実技(体育, 音楽, 観察実験, 伝統芸能, 救命救急等)

2. 採用1年目等・経験が少ない常勤・非常勤等, 特にフォローが必要なもの

- ・採用1年目, 経験が少ない常勤・非常勤, 少人数教科, 新任管理職等, 特にフォローが必要で, お互いのつながりが必要なもの

3. 個人情報等を扱うもの

- ・オンライン協議に向かない個人情報等を扱うもの (クラウド運用ルールの遵守)

4. 協議+ワークを伴う等, オンラインで実施困難なもの

- ・協議+ワークを伴い, オンラインで実施すると研修効果が得にくいもの

※上記以外でどうしても集合研修が必要な場合は, 個別で限定的に運用。

※コロナ感染状況等により, 要件該当でもオンラインになる場合あり。

2



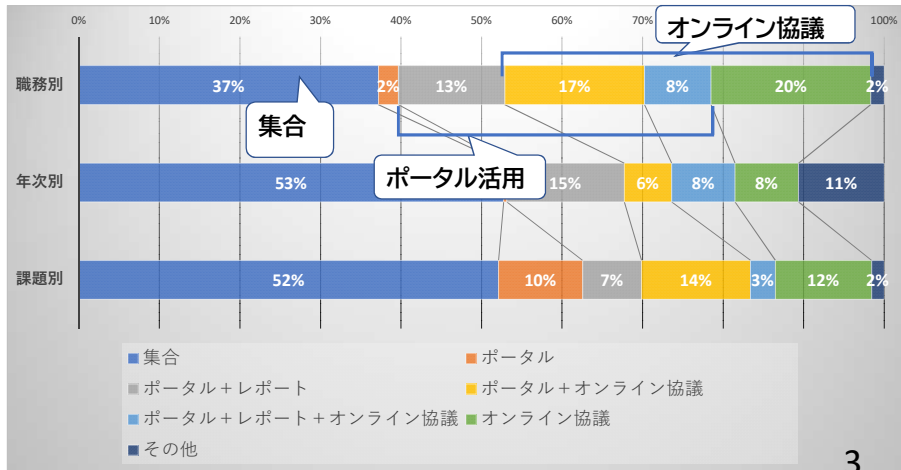
## 令和3年度 教職員研修計画について

京都市総合教育センター

### 【令和3年度研修計画の概要】

集合研修について ※年間通して

→研修全体では、集合5割、ポータル活用3割、オンライン協議3割程度の活用



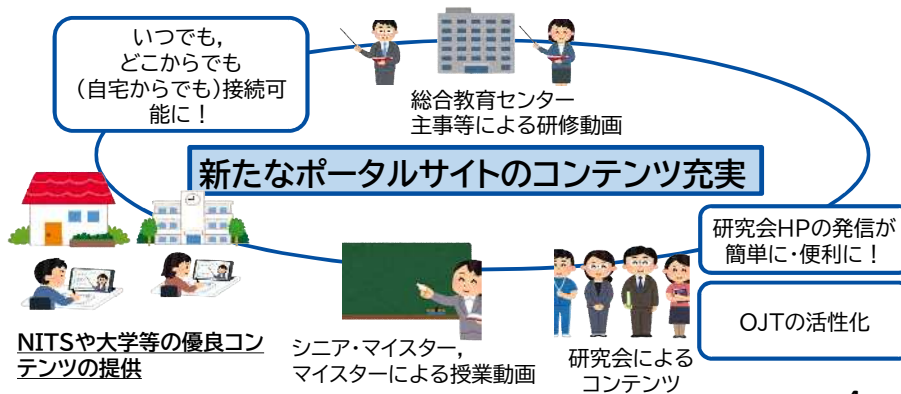
## 令和3年度 教職員研修計画について

京都市総合教育センター

### 【令和3年度研修計画の概要】

OJTを支援する研修体制の構築（ポータルサイトのリニューアル・活用）

→ OJTの活性化, 自己研鑽の機会の充実, コンテンツの拡充（NITSや大学等の動画コンテンツ等の積極的な活用）



## G I G Aスクール構想に関する研修一覧

G I G Aスクール構想を推進するにあたって、その趣旨や情報セキュリティー、端末やソフトの実際の操作方法に関する研修を、オンデマンド型、オンライン双方向型等で実施している。

令和3年度は、情報教育主任や新たに設置されたG I G Aスクール推進主任等、管理職を含む教育情報化促進チームを対象としたG I G Aスクール構想に基づく教育展開に関する研修や、ロイロノート等の実技研修等を実施している。

<令和3年度>

(小・中・総) G I G Aスクール推進主任・情報教育主任研修会	4月30日～ 5月21日	G I G Aスクール構想に基づく教育展開についての講義映像視聴	総合教育ポータルサイト映像配信、小中総は全校必須視聴
「はじめてのロイロノート」研修会	5月31日～ 6月4日 計5回	Zoomを視聴しながらロイロノート・スクールの操作を体験	全5回 約850名参加
G I G Aスクール推進主任 (教育情報化促進チーム) 夏季研修会	8月2日	G I G A推進主任の役割についての、講義や、G I G Aスクール推進に関する実践発表及び協議	小中のG I G Aスクール推進主任は必須参加
	2月(予定)		
教育情報化促進チーム実践交流	6月～	Teamsを活用し、教育委員会が提供する、実践事例を共有する他、各校での取組事例をTeams参加者が随時投稿・交流する	小学校向け Teams参加者：444名 中学校向け Teams参加者：269名 (6月末時点)
G I G A端末活用マイクロラーニング研修	6月～	ロイロノートスクールの活用 自分の気持ちを表そう、 ①先生の準備 ②児童の動き ③慣れてきたらカードに書き込みをしよう 授業の振り返りを共有しよう ①先生の準備 ②児童の動き ③慣れてきたらカードに書き込みをしよう！ 等	G I G Aスクールホームページ等にて公開
ロイロノート(入門編/活用編) Microsoft Teams 操作研修	7月26日～ 8月5日	ロイロノート・スクールや、Teamsの使い方に不安のある方を対象に操作研修を実施	ロイロ入門編：全3回 活用編：" Teams：全1回
プログラミング教育研修会	7月～	プログラミングソフト「スクラッチ」の操作について	映像配信
プログラミング体験講座	9月～10月	マイクロビット・スクラッチ等の操作体験	全4回の予定

【参考（令和2年度）】

令和2年度は Microsoft 365 の操作実技研修や、GIGAスクール構想に関する趣旨等についての研修映像を総合教材ポータルサイト等に掲載し、全管理職及び校内で中心的な役割を果たす教員複数名により視聴のうえ、校内での伝達を求める研修を実施。

学校向けMicrosoft 365 研修会	11月～12月	Microsoft 365 の操作演習と実践報告 (集合研修)	全11回 238名参加
事務局向けMicrosoft 365 研修会	1月～2月	Microsoft 365 の操作演習と実践報告 (集合研修)	全11回, 約260名参加
管理職GIGAスクール研修会	12月～1月	GIGAスクール構想に基づく京都市の学校教育の方向性, 端末運用のルールMicrosoft 365 を活用した授業実践例の紹介	総合教育ポータルサイト映像配信, 小中総は全校必須視聴
主任・リーダー級GIGAスクール研修会	2月～	GIGA端末の具体的な活用等	総合教育ポータルサイト映像配信, 小中総は全校必須視聴予定
フレッシュせんせい 教師力アップ教室	1月29日	研修会において, GIGA端末 (LTE) を試行的に活用	45名参加
ロイロノート・スクール研修会	2月～ 3月	ロイロノート・スクールの活用方法についてオンラインで実習する	全5回 約1,500名参加
GIGA端末活用マイクロラーニング研修	2月～	①通信設定LTE, Wi-Fi ②GIGA端末にサインイン ③GIGA端末で写真を撮影・動画を撮影 ④状況別のMS365とロイロノートの使い分けについて ⑤GIGA端末からMS365への入り方 ⑥Microsoft365でアンケート(小テスト)をつくる ⑦teamsでチームを作る方法	GIGAスクールホームページ等にて公開



京都市の目指す子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」

－ 3つの姿 －

- 広い視野と豊かな感性を持ち、よりよい人生や社会を創造できる
- 様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たすことができる
- 多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となることができる

学校教育の重点

重視する視点

- ◇ 子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校・幼稚園全体の教育活動の中で高める。

学校運営 5つの柱

- 1 『いのち』  
～子どもの命を守りきる～
- 『よりそい』
- 2 ～多様な子どもを誰一人取り残さない教育を進める～
- 『つとめ』
- 3 ～教職員の職責を自覚し、研鑽することで、教育の質を高める～
- 『ひろがり』
- 4 ～カリキュラム・マネジメントの視点をもって社会に開かれた教育課程を実現する～
- 『つながり』
- 5 ～校種間連携・接続により子どもを支える～

「生きる力」を育む15の取組

- ① 社会とのつながり・接続を実感できる授業への改善
- ② 基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実
- ③ 探究活動を通じた、主体的・対話的で深い学びの実現
- ④ グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成
- ⑤ LD等支援の必要な子どもの学力向上
- ⑥ 道徳教育の充実
- ⑦ 伝統文化や芸術を通じ、豊かな感性・情操を育む教育の充実
- ⑧ 規範意識の育成
- ⑨ 多様性を理解する姿勢の涵養
- ⑩ 支え合い高め合う集団づくりの推進と絆づくり
- ⑪ 運動やスポーツの実践と体力の向上
- ⑫ 保健教育の充実
- ⑬ 飲酒・喫煙・薬物に関する指導
- ⑭ 安全教育の充実
- ⑮ 食に関する指導の推進

指標（教諭、養護教諭、栄養教諭）

目指す教員像

教育者としての職責を自覚し、常に自己研鑽に努め、確かで幅広い力量をもつ教員

教員としての素養

- ◇ 京都市の教員としての自覚や使命感  
教育的愛情、教職に対する使命感や情熱、法令遵守、向上心、人権感覚、京都市の伝統と文化への理解、危機管理・安全管理
- ◇ 連携・協働する力  
コミュニケーション力、課題解決能力、開かれた学校づくり、真のワーク・ライフ・バランスの視点をもった校務遂行

学校づくり

- ◇ 学校運営への参画と活性化  
教育活動の充実と推進
- ◇ OJTの推進  
研究・研修体制の構築と推進

授業づくり・学級づくり

- ◇ 学習指導  
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践  
カリキュラム・マネジメントを踏まえた授業改善、しなやかな道徳教育、生き方探究教育 等
- ◇ 学級経営  
一人一人を大切にしたい互いを認め合う学級づくり
- ◇ 生徒指導  
自己指導能力の育成、確かな子ども理解、組織対応
- ◇ 総合育成支援教育  
子ども理解に基づく適切な支援や合理的配慮、組織対応、保護者・関係機関との連携  
※養護教諭、栄養教諭は専門領域の指標を参照する。

教職員研修計画

校外での研修

教育委員会が主催する研修

- ・管理職を含め、キャリアステージに応じた研修（経験年次別研修、ミドルリーダー養成講座、学校経営力向上講座）
- ・校務分掌等の職務に応じた研修
- ・様々な教育課題に対する資質・指導力を高める研修（教科指導、生徒指導、人権教育、総合育成支援教育等）

支部研修、他の学校園で開催される公開授業研修等

校内での研修(OJT)

※OJT(On-the-Job-Training 職務遂行を通じた研修)

<OJTの機会や場面>

- 教職員同士が協働する } 学年会  
教科会  
分掌業務
- 校内研修
- 若手・中堅教員実践道場 等

自己啓発

教育研究団体

研究・研修への参加

ポータルサイト

授業映像、研修映像  
カリキュラム開発支援センター  
大学、Nits、民間組織等の活用